

河川敷の環境整備活動をしている

中津川・日向橋下流の景観を守る会訪問

令和4年6月12日(日)

サポセン環境保全の団体の一つである「中津川・日向橋下流の景観を守る会」代表・小島條太郎氏（会員数14名）は、平成22年1月に愛川町に眠る歴史や文化の変貌にさらされている環境を、いろいろな工夫により後世に残せる自然の景観を保全しようと、「愛川町シルクロードのまちづくり実行委員会」として発足。

宮ヶ瀬ダム下から八菅橋に至る地域までの構想などいろいろ、座学を数回重ねた後、同年10月「愛川町シルクロードクラブ」（その後、愛川シルクロードクラブに変更）として、「中津川をホッとする空間に」を合言葉に、日向橋下流の現地の景観を取り戻すべく活動を行っていましたが、参加者も減少傾向にある中、もっと活動内容を皆様に知っていただけるように、令和4年に団体名称を変えて活動をしています。

愛川繊維会館（レインボープラザ）に体験学習で訪れた小学生たちが、お礼に送ってくれた感謝の手紙・文が館内に掲示されており、その中に学習後に近くの中津川の河原で昼食を食べた、また、自然学習を行ったなど、そのような光景を思い浮かべると、尚更、小学生たちが安心して集え、「ホッとできる空間を作りたい」という思いから、自然景観を保全するため、少人数ながら草刈り、コスモス植栽など環境整備に力を入れているそうです。



繊維会館（レインボープラザ）

人間一人ひとりに個性があるように地域にも歴史がある。個性を伸ばすことが人間にとって大切なように、地域の特色を生かした町づくりが大切である。当会は愛川町に眠る、こうした歴史や文化に光をあて変貌にさらされてもなお、清らかな水が暮らしの傍らで流れる「ほっとする空間」自然の景観を保全し、後世に残していく使命をもって各種の活動を展開していきたい。

- 中津川河川敷の清掃と雑草除去及び草花の植栽、「ほっとする空間」への工夫

◇ 活動場所：愛川繊維会館裏の河川敷 年会費：2000円

4月～11月の間、月2回（第二・第四日曜日 6/12～7/24 は8:30～、他は9:00～、2時間位）

連絡先：尾谷 充男（おたに みつお） 電話番号：046-281-1830